

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
			17	16	15	14	13	12	11	10

○

軍機極秘親展

作戰班

電 報

一四三〇

次 長 宛

同 部

除 長

南參一電第五四五號

南總作命甲第四〇號發令セラル

要 旨

一 第二十五軍司令官ハ作戦ヲ中止スベシ

二 第三飛行集團長ハ右ニ關シ南進艦隊ト協同シ現ニ「カムラン」

灣ニ待機シアル航空部隊（資材共）ヲ通クモ一月二十六日迄ニ

「エンドウ」又ハ「メルシン」ニ撤退場ヲ設スベシ

三 尙第十八師團主力ハ「シンゴラ」ニ撤退ス

(終)

至急秘類展

作戰班

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11

電報

次長宛

岡部隊總參謀長

南參一電釘五五七號

一九二〇年九月
二〇一〇五〇著

昭和一九二〇

第二艦隊ヨリ左記要旨ノ電報ヲ受領セリ

H 攻略日程ハ東部蘭領「ボルネオ」方面ノ飛行場狀況豫想外ニ

不良ニシテ基地擴張ニ百方手段ヲ盡シツツアルモ航空兵力ノ進

出漸次遅延シツツアル實情ニシテ他方敵ハ北端ノ基地ヲ利用シ

反響的態度ニ出テツツアリ

加フルニ「タラカン」ノ狀況ヲ觀ルニ機雷敷設面多ク今後ノ攻

略日程ヲ大過ナク進捗センガ爲ニハHノ攻略日程ヲ十日遅ラシ

ムル事情ニアリテ二十一日ヨリ馬尼刺ニ於テ主席參謀ノ會同ヲ
行フニ付參謀派遣方希望スト

ニ右ニ對シ總軍トシテハ攻略日程ノ延期ハ却ツテ敵ノ防備（特ニ
海、空）ヲ強化シ愈々攻略ヲ遲延スル結果トナルベキコト概ニ
確實ナルヲ以テ此ノ際萬難ヲ排シ總協第四號ノ攻略日程ヲ基
準ト致シ度旨強調スルト共ニ他方海軍航空部隊ノ爲ニモ飛行場ノ
獲得整備、使用燃炭ノ補給等十二分ノ援助ヲ與ヘ以テ艦隊ノ自
信ヲ高ムル趣旨ニテ返電セリ

而シテ元來日作戰ニ關スル豫想ハ彼我航空勢力伯仲シ敵航空ニ
對シテハ其ノ制壓成果ヲ利用シテ敢行セントスル作戰方針ナル
所目下日ノ敵航空勢力多少増加シ且敵増加艦艇ノ來著近カラシ

トスル状況下ニ於テ數日ノ延期ハ却ツテ十數日延期ノ因タルコ
ト火ヲ見ルヨリ明カナルヲ以テ今更作戰方針ノ斷行ヲ躊躇スベ
キニアラズト判斷ス

四以上ニ關シ軍司令部側ヨリノ申出デヲ通報ス
念ノ爲

（終）

67

0644

8	7	6	5	4	3	2	1
✓	○	○			○	○	○
1	2	3	4	5	6	7	8
							○

作戦班



電報
 一六二二三〇發
 二〇一〇五〇著
 岡部陸軍部
 陸軍部
 陸軍部

南參二番二四四號

一月九日正午迄ニ知得セル狀況

林義郎

(1) 沖支隊ハ「ミツタ」附近ノ約一小隊ノ印度兵ヲ撃破シ十五日二

十二時四十分「ミツタ」ヲ占領ス

飛行機ノ偵察ニ依レバ其ノ先遣隊ハ十七日十三時頃「ワゴン」

「タボイ」東北方二五軒ニ逸出セルガ如シ

(2) 分内兵團ノ戦闘司令所ハ十七日「モソド」東方八軒ニ逸出セリ

昭和一七年二月

(1) 十八日松井長團主力ハ「ゲマス」東方一〇軒附近ニ匿村長團主

カハ「ヨンベン」區方二〇軒附近ニ又其ノ一部ハ「バツバハツ

ト」東南方地區ニ退出セリ

東海岸ヲ南進セシ六庭支隊ハ「エンダウ」對岸ニテ濤河準備中

又佐藤支隊ハ其ノ先頭ヲ以テ「カラク」ハ「クアラランボ」

東北六二軒ニ退出セリ

(2) 「ゲマス」東方ヨリ「ムアル」河左岸地區ノ敵ハ濤河第八旅團

及印度歩兵第四五旅團ナルモノノ如シ

飛行機ノ偵察ニ依シテ敵ハ既ニ東方ニ退却中ナルガ如シ

三 渡案圖

(1) 奈良兵團ノ「バランガ」北極地區支隊ハ「アウラ」ニ進發中ナ
ルモノノ如シ

又十七日飛行機偵察ニ依レバ木村立降ハ十五時頃「モロン」南方地面ヲ前進中ナルガ如シ

(2)直撃飛行機ハ十七日集團作戰ニ協力スルト共ニ敵ノ瀕存機ヲ索メテ攻撃シ(十七時四十分)二機ヲ撃墜セリ
我が損害 一機

航空状況

(1)管区兵團ハ十七日戦線連合部隊ヲ以テ新嘉坡市街及「バカンバル」(「スマトラ」中部)「テング」西飛行場ヲ攻撃シ一八ヲ炎上(内飛行機四)六機ヲ大破セシメ市街中樞部ヲ爆撃ス
十八日再ビ新嘉坡ニ進攻シ「センバワン」ノ油槽群ヲ爆撃シ
「バフアロー」十敵機(一一機撃墜)「ロツクヒード」機三機
(二機撃墜)ヲ攻撃セリ

(2)小隊兵團ハ泰方面ヘノ前進中十七日蒙自附近ヲ攻撃シ(十六

時四十分一三機ヲ撃墜ス

十八日更ニ雲南附近ノ地上部隊ヲ攻撃多大ノ戦果ヲ收メタリ

(3) 小畑兵團ノ偵察ニ依レバ「ミンガラドン」飛行場ニハ大型一二

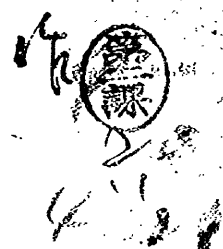
小型一三ヲ認ム

「モールメン」以南各飛行場ニハ敵機ヲ認メズ

(終)

71

0648



金
急
報

作戰班

電報

一
二
一
〇
六
四
五
〇
發

昭和一

次長 宛 岡部 隊 總參謀長

南參二第第二四六號

二十日正午迄ニ知得セル狀況

林集團（緬甸方面）

沖支隊ハ十七日夜「カウメイダン」（「タボイ」東北方二八浬）

西方障地ヲ占領セル約六〇〇ノ敵ヲ夜襲（潰滅的打撃ヲ與フ）

十八日十三時「ンガンンドン」（「タボイ」東北方二〇浬）ニ

進出セリ（昨十九日報告沖支隊ノ狀況訂正）

三 集團（馬來方面）

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
10	15	13	17	16	15	14	13	12	11

(1) 薩村英傑主力ハ十九日「ムアル」河附近ニ進出シ其ノ第一線

ヲ以テ「バクリ」(「マラツカ」東南方五〇行)附近ノ敵隊

地ヲ突破國司池澤隊ハ海岸道方面ニ轉進ス

「バツバハット」北側地區ノ岩畔追撃隊ハ其ノ北方地區ヨリ

「シンペン」ニ向ヒ追撃中又岡大隊ハ「タンジョンラヅ」ニ

ツバハット」東南方一二行)附近ニ於テ敵ト對峙中

(2) 薩村英傑ハ十九日川村追撃隊ヲ以テ十時三十分頃「バツバハット」

(「ゲマス」東方)附近ノ敵ヲ追撃中ニシテ安藤部隊ハ南方

ヲ追撃シ其ノ先ヨリ「バツバハット」ニ於テ十三時「セガマ」(「ゲマス」東東

南二〇行)附近ヲ入新ニ又其ニ進出ス

(3) 敵ハ薩村英傑ヲツツ追撃シアルモノノ如シ

(2) 兵部職司令所ハ十九日十八時「ゲマス」ニ推進セリ
海川口支隊（「ボルネオ」方面）

(1) 聯隊長ノ指揮スル歩兵三中隊ヲ以テ十六日「ピサン」（「シ
リアス」真北方ヲ指シテ第一三〇ノ地ヲ確保シテ「シリマス」
ノ敵（約三〇〇名）ヲ斃スル人ヲ和島人ノ増強スル印度人
瓜哇人ニ對シ

一部ヲ以テ東北方ヨリ主力ヲ以テ東南方ヨリ敵ノ背後ニ向ヒ進
路中

(3) 西部「ボルネオ」ハ二十年來ノ豪雨ニテ蘭印國境方面ノ道路ハ
著シク惡化セルガ如シ

四 瘴氣國（比洋賓方面）

(1) 木村支隊ハ十八日「モロン」東南方ノ障地ヲ占領セル敵（砲撃
門ヲ有ス）ヲ攻撃中

(2) 配屬飛行隊ハ十八日「P三六」ヲ一機、十九日「P四〇」ヲ四

機撃墜セリ

三 航空状況

(1) 戦艦ノ状況 十八日十二時十分頃新嘉坡飛行場群甲「テンガ」

大砲、中型四「センバワン」一機「セレター」中型、小型七

ヲ認メ「カラシ」ニハ敵機ヲ認メズ、十八日十六時三十分頃

「ミシガラドン」飛行場ニハ大型二小型一四ヲ認メタリ

(2) 菅原兵團ハ十九日宮築園ノ作戦ニ協力シ「バツバハット」上空

ニテ九時五十分頃「マーチン」蘭印機三（全部撃墜）「バツア

ロー」二機（一機撃墜）ヲ攻撃シ十六時頃同沖合ニ於テ「バツア

ロー」一二機ト交戦シ四機ヲ撃墜セリ

(3) 小畑兵團ハ十九日一部ヲ以テ沖支隊ニ協力主力ハ薩谷に近ニテ

空襲作戦ヲ準備中ナリ

(終)

山 砲 二 重 機 三
 輕 機 八

ニ高築園

(1) 西村兵園ハ二十日岩畔部隊ヲ以テ「バクリ」附近ヲ掃蕩ス

其ノ主ナル戦果

遺棄死體 三〇〇 捕虜 一五〇

戦車 六 自動貨車 六〇

砲 七門

敵ノ退路遮斷ノ爲海岸道ヲ迂回セル二箇大隊 吉田大隊ヲ以
 テ二十日十六時「バリットスロン」(「バクリ」東方二〇軒)

ニ進出ス

(3) 松井兵團ハ二十日十一時三十分「セガマト」(「ゲマス」東
兩方二四軒)ニ進出強敵ヲ掃蕩シツツ追撃中

(3) 木庭支隊ハ「エンダウ」ヨリ「メルシン」ニ向ヒ前進中ナリ
ト

三 航空状況

(1) 菅原兵團ハ二十日富集團ノ作戦ニ協力スルト共ニ戰場附近在

空敵機ヲ求メテ攻撃

「ホーカーハリケーン」機 七 「バファロー」機 一

其ノ他 六機

計 一四機

ヲ撃墜シ又「セレター」飛行機組立工場ヲ爆撃シ七箇所ヨリ

79

0656

發火セシメタリ

(2) 小畑兵團ハ二十日一部ヲ以テ沖支隊ニ協力「タボイ」ノ海岸

ニ於テ五〇〇噸級汽船一及棧橋ヲ破壊セリ

又「タボイ」上空ニテ敵機七ト遭遇小型二機墜セリ

(終)



至急

昭和一七二二

機戰部

電報 一〇二一〇發

次長 宛 岡部 隊 總參謀長

南參一電第五七九號（其ノ四以下未著ナルモ取敢ズ）

富參一電第八五七號返

記凡節區ニ於ケル陸軍航空協力見込左ノ如シ

一 作戦ノ上陸決行ニハ萬全ヲ期シアリ上陸ノ前後數日ヲ最高潮ト爲

ス 從ツテ上陸作戦ガ豫定通決行セラルルニ於テハ第三飛行集團ノ主力ヲ

以テ協力スルコトヲ得尙第四項ノ關係之ヲ許セバ第五飛行集團ノ一

部ヲモ協力セシムルコトニ關シ研究ス

11	12	13	14	15	16	17	18

目下工作ノ日次ヲ繰下ゲザルコトニ關シ隊側ト極力折衝中配慮[?] 32

アリ度尙總協第四號ノ補充日程ト富集團ノ希望トヲ一致セシムル必

要切ナルモノアルニ鑑ミ貴集團ニ於テモ航空燃料艱難(陸海軍共)

ノ補給ニ關シ此ノ上トモ各別ノ御援助ヲ煩ハシ度

以下一部未著

0659

9	8	7	6	5	4	3	井本	作戦班
15	14	13	12	11	10	9		

軍機秘親展

昭和一七年三月

電報 一四一〇發
一四四六著

總長宛 岡部長

南參一電第六〇四號

目下馬尼刺ニ於ケル攻略日程ノ研究ニ依レバ「パンジエルマシ
ン」ノ攻略ハ之ガ割愛シテH全般ノ進捗ヲ期シアリ
ニ右ハ中央協定所定驛項ニ付豫メ御諒解ヲ得タシ
ニ最モ「パンジエルマシン」ハ東部日ト略ト同時ニ又。露後機ヲ見
テ之ヲ占領スルコトヲ豫期ス

通電先 東京（渡） 治ハ参考請ハ南方置石井參謀ニ傳ヘラレ

（度） （終）

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回	作	電
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	電	報	次

4 (Seal)

昭和二十二年一月二十二日

電報 下ニニ 〇〇 〇七 一四 一四 發
 岡 部 隊 總 參 謀 長

兩參一電第五七九號其ノ四(一月二十二日配付一部未著ノ分)

軍部聯合艦隊共ニ同意ナリ御參考迄
 (東京 治 第三飛行集團ハ參考迄)

(終)



電報 秘

電報

次長 宛

前参二電第五九一號

總軍 石井第一課長へ

一 攻略日程ノ延期ハ甚ダ遺憾ナルモ貴官ノ報告ニ依リ

最短日次ヲ以テ新攻略日程トス

二 今後ハ一層陸海ノ協同ヲ緊密ニシ新攻略日程ヲ確

守シテハ作戦ノ完遂ヲ期ス

三 終リニ貴官等ノ努力ヲ多トス

司令部總参謀長

昭和十七年一月二十九日

四 前治参二電第四三號ニ依レバアニホニノ攻略日程

ノ大幅變更ニ関シ第三艦隊ノ申出テラ諒

承シアルモノノ如キモ右ハ總軍ト第二艦隊間

ニ決定スベキモノニシテ今後ノ指導モアリ注意

シ置クコト

(東京ハ参作迄)

(終)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11

至急秘親展

作戰班

南參三雷第三八五號

電 報 一七〇〇發
 次 官 宛 閣 部 隊 總 參 謀 長

昭和十七年二月

比律賓統治ノ爲ニハ「バルガス」ヲシテ殘存比律賓側行政機構ヲ
 統一セシメ軍司令官ハ「バルガス」ニ指揮命令シ該機構ヲ運営セ
 シムルト共ニ各機構ニハ日本官吏ヲ配置監督指導ニ當ラシメ以テ
 軍政施行ノ目的ヲ達成スル如ク實施シツツアリ
 尙右機構ハ比律賓ノ獨立問題トハ何等ノ關係ナク「バルガス」以
 下中央地方ノ行政職員制ニ類似スル職名ヲ保有セシムル場合ニア
 リテモ本質上滲集團軍政部職員タル性格ヲ保有スルモノト看做モ

ノトス

ニ比島ニ於テハ從來白人官吏ハ採用セラレアラス比島人官吏ハ其ノ
大部存シアルヲ以テ軍政部職員タル日本人官吏ハ今後大ナル増
員ヲ要セザル見込ナリ

總理ノ占領地處理ニ關スル施政演說ニ於テ比島獨立ノ意願ヲ中外
ニ聲明セラレタル所當方トシテハ右ハ大東亞戰爭終末後ニ具現ス
ルヲ豫期スベキモノト考ヘアリ從ツテ戰爭間ハ支那國民政府ノ場
合ト異リ軍司令官ニ依ル軍政ヲ繼續スルヲ絕對必要トスル意見ナ
リ若シ戰爭間諒力ニ獨立國トシテ承認スルコトガ米國民衆ノ戰意
ヲ喪失セシムル等戰爭指導上特ニ有利ナル御判斷ノ下ニ差當リ改
善スルモノアラバ之ガ要ニ關シ至急回示相成り度

(終)

10	19	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回電	作戦班
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-----

至急 秘

電報 二二五〇一〇〇 著發

昭和一七

次長 宛 岡部 隊 總參謀長

南參二電第二八一號 (其ノ四未著)

一月二十四日正午迄ニ知得セル狀況

一 宣集區 (馬來方面)

(一) 西村兵團ノ一部ヲ二十三日正午來「ヨンベン」西側ノ敵ニ

對セシメ主力ヲ「バツバハト」(四〇〇〇)内外ノ敵アルモ

ノノ如シ)ヲ攻撃中ナリ

(二) 松井兵團ハ二十三日夕ヨリ河村旅團ヲ以テ「パロー」(「ラ

ビス」東南三五紜)附近ノ敵(追撃砲ヲ有ス)ヲ杉浦旅團

ヲ以テ「ヨンペン」北方一二軒ノ敵陣地ヲ夫々攻撃中ナリ

(8) 飛行機偵察及土馬ノ音ヲ綜合スルニ「アエルヒタム」及「ク

ルアン」ニハ相當ノ敵アルモノノ如シ又「クルアン」ニハ

機銃ヲ有スル陣地アルモノノ如シ

(以下一部「其ノ四」未著)

平川口支隊(英領「ボルネオ」方面)

(1) 第一三ノ兵方ヲ以テ北「ボルネオ」北岸「サンダカン」

ヲ占領シ死傷甚多以下「サダカン」ヲ救出シ機關銃二挺小

銃二挺〇、機銃九挺ヲ鹵獲セリ

(2) 百三ノ兵方ニシテ

是れ一連門ノ陸路ヲ沿テ「ミンター」シリアス」河沿邊シ部隊

0667

ノ行動著シク擧肘ヲ受ケアルモノノ如シ又海上ハ約三米ノ
巻波ヲ生ジアルモノノ如シ(二十三日)

四 現在ノ戦況(比律賓諸島方面)

(1) 奈良兵團ノ主力ハ逐次敵陣地ヲ蠶食中ニシテ其ノ迂回隊ハ

二十二日「バランガ」西北八軒ノ高地上ニ進出ス

(2) 木村支隊主力ハ「マウバン」附近約一〇〇〇ノ敵ヲ撃滅シ

二十三日夕「バガツク」北方地域ヲ攻撃中ニシテ同陣地ニ

ハ二十二日夕戦車ヲ伴フ敵若干増加セシモノノ如ク支隊ハ

一部舟艇ニ依リ海上ヲ機動シ二十三日二時三十分「カイボ

ボ」岬(「バガツク」南方八軒)附近ニ上陸セリ

五 航空状況

(1) 菅原兵團ハ二十三日有力ナル一部ヲ以テ「スマトラ」中部
ノ「パレムバン」飛行場ヲ攻撃シ大型一四（内四ハ「ボー
イニング」B一七）ヲ火網ヲ以テ捕捉シ（「ボーイニング」B
一七）一機ヲ確實ニ炎上セシメ歸途「カーチス」P三六ノ
攻撃ヲ受ケタルモ五機ヲ撃墜シ我ニ損害ナシ又別ニ一部ハ
「セレター」飛行場ヲ攻撃シ大型二ヲ炎上一ヲ破壊ス同地
上空ニ飛來セル敵機一二ト交戦シ一ヲ撃墜セリ

(2) 小畑兵團ノ有力ナル一部ハ二十三日「ミンガラドン」飛行
場ヲ攻撃シ敵戦闘機三〇ト交戦多大ノ成果ヲ收メタリ

兵團二十三日ノ綜合戦果

撃墜一七機外ニ不確實ナルモノ六機

(3) 二十二日十五時支那飛行機一八八北部佛印「フランドウ

オーナー」(河内東北方四〇軒)ヲ爆撃セリ

土民若干死傷セル外損害ナシ該機ハ「ハジヤン」(河内西

北方二三〇軒)方向ヨリ進入セルモノノ如シ (終)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	作戦班
									⑤	

電報

次長宛

南參一電第六二二號

南參電第五五二號（日作戦ノ爲ニエンジンエルマシンの攻略

ヲ要望スル件）啓承

エンジンエルマシンの價値ニ關シテハ全ク同意見ヲ有ス

ルモ之ヲ陸海協同シテ台領スルコトトセバHノ攻略

著シク遅延スルコトナルヲ以テ新計畫ニ於テ

昭和一七、一、二六

一五、一、二六

岡部隊總參謀長

ハ之ヲ割^イ奪セリ

三然レトモ^トノ攻略ヲ的確ナラシムル為萬難ヲ排

シ陸軍主體トナリ陸路及海上機動ニ依リハンジエル

マシンヲ台領スルコトノ處置ハ濟ミ

四尚優速船ニ隻ヲ以テハリ島ヲ^対以前ニ陸海協

同シテ台領ヲ企圖ス

(右ハ參考送)

(終)

参電

電報

次長宛

岡部隊參謀長

昭和 一七、一、二八

一、二七、一、三五、發

一、五、三、著

南參四電第六五八號

參電第五九一號(バンジエルマシンの攻略ニ關シ再考ヲ求ムル件)

バンジエルマシント占領ノ價值ニ關シテハ深ク認識シアル所

ニシテ之ガ豫定ノ通ノ實行ニ關シ現地陸海軍間ニ

於テ極力考究シタル所ナルガ、作戦全般ニ於ケル

海軍艦艇ノ護衛關係竝ニ航空基地ノ占領設定整

備ノ時日等些細ニ檢討セシ結果遺憾ナカラ豫定計

畫ニ基キバンジエルマシント占領ヲ省略スルコトナク

ヤバ東部方面攻略ニ更ニ約ニ週間ノ遅延ヲ來ス結論
到達シタルモノナリ
H作戰ニ於ケル航空作戰ハ決シテ容易ニアラザル
ハ陸海兩者トモ深ク認識シアルト雖モ豫定計畫ニ基
クバンジエルマシント占領ノ戰術的價値ハ攻略日程ニ週間
遅延ノ戰略的不利ヲ償ヒ得サル所ナリト信ス
而シテ右計畫修正ノ不利ヲ補フ爲バリ島ヲ占領シ且
陸上及舟艇機動ニ依リ速カニバンジエルマシント占領利
用スルフトニ關シテハ既ニ前電ニテ御了承アル所
如シ

(終)